

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】	ヒヤリハット報告ポスト設置による効果	
1. 研究の目的と方法	<p>クリティカル領域は、小さなミスが重大な医療事故につながりやすい現場で、ヒヤリハットの分析は医療事故を未然に防ぐための重要な手がかりです。当院の集中治療室は様々な診療科が混在し業務が複雑です。こうした環境はクロスモニタリングが重要となります。クロスモニタリングはメンバーが互いの行動や状況を観察し、助言や指摘を行うことでチーム全体の安全性を高めることができます。しかし、当院のICUはヒヤリハットの報告数は少なく、理由に経験の若いスタッフが多い、気づきの能力が低いこと、先輩への助言や指摘がしにくいという現状、報告ツールへの入力負担が大きいことが挙げられます。そこで、経験の若いスタッフに小さな気づきを促し、チーム全体のクロスモニタリング機能を高めるためにヒヤリハット報告ポストを設置し、投函された内容についてその報告動向を分析したいと考えております。</p> <p>方法として、2023年8月1日から2025年3月31日に、ICU内のヒヤリハット報告ポストに投函されたヒヤリハット報告を年度別に分析します。主要な調査項目は、(1)報告率、(2)月別、(3)医療事故8分類(薬剤・輸血/治療・処置/機器・ルート/検査/療養上の事故/給食・栄養/クレーム/その他)、(4)経験年数別報告率(5年目以上はリーダー看護師のため一括)を調査します。</p>	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年6月30日、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	葛飾医療センター 集中治療室で、ヒヤリハット報告ポストに投函をしていただいた看護師	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	(1)報告率、(2)月別、(3)医療事故8分類(薬剤・輸血/治療・処置/機器・ルート/検査/療養上の事故/給食・栄養/クレーム/その他)、(4)経験年数別報告率(5年目以上はリーダー看護師のため一括)を調査します。
	(4) 情報の取得の方法	ヒヤリハット報告ポストに投函された情報より取得します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名 葛飾医療センター 集中治療室 氏名 二階堂 恵美

	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	(1) の研究責任者と同じ
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年4月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 集中治療室 研究責任者：二階堂 恵美（ニカイドウ メグミ） 電話番号：代表：03-3603-2111（ICU 内線 3911） 対応時間：平日 08：00～16：30	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。